

海保プチ情報

教育機関について



入庁希望者・就活中の方向けの情報掲載





海上保安官になるには3つの道があります。
あなたに合った道を選んでみませんか？

現場第一線の海上保安官になる
海上保安学校

▶受験資格 高校卒業後12年未満まで

一般課程	▶教育期間 1年	
	航海コース	主計コース
	機関コース	航空整備コース
	通信コース	

航空課程 ▶教育期間 1年

管制課程 ▶教育期間 2年

海洋科学課程 ▶教育期間 1年

海上保安大学校
(広島県呉市)



海上保安学校
(京都府舞鶴市)

海上保安学校
門司分校
(福岡県北九州市)

幹部海上保安官になる
海上保安大学校
(本科)

▶受験資格

▶教育期間

高校卒業後2年未満まで 4年9ヶ月

(初任科)

▶受験資格

▶教育期間

大学卒業後30歳未満まで 2年9ヶ月

有資格者が即戦力として活躍
**海上保安学校
門司分校**

▶試験を受けられない者

採用日に62歳に達している者

▶受験に必要な資格

海技士、無線従事者、航空従事者の資格

※採用試験の詳細は採用HPをご確認ください。

幹部海上保安官になる 海上保安大学校



広島県呉市



<海上保安大学校HP>

Topic

呉市は、明治時代から海軍の街として、そして今も海上自衛隊や造船の街として知られている。





教育機関：1年

現場第一線の海上保安官になる 海上保安学校



京都府舞鶴市



<海上保安学校HP>

Topic

舞鶴市は、京都府北部に位置し、
日本海の若狭湾に面する自然豊かな
港湾都市です。

一般課程

巡視船艇に乗り組むほか、航空基地やヘリコプター搭載型巡視船での航空機の整備などの業務を担い、領海警備、海難救助、海上犯罪の取締り、海上交通の安全確保、海上災害および海洋汚染防止などの業務にあたります。

管内転勤

航海コース

船の運航を担当する海上保安官(航海士)を育てるコース

操船技術や航海計器の取り扱いなどに関する基礎を学びます。

機関コース

船の機関運転、整備を担当する海上保安官(機関士)を育てるコース

エンジン、燃料、電子機器などに関する基礎を学びます。

通信コース

通信機器の運用、保守を担当する海上保安官(通信士)を育てるコース

通信実技や電子機器に関する基礎を学びます。

主計コース

船内での経理や調理を担当する海上保安官(主計士)を育てるコース

総務、経理補給業務や調理などに関する基礎を学びます。

全国転勤

航空整備
コース

航空機の整備や、自ら航空機に乗り組んで海上保安業務を行う航空整備士を育てるコース

資格取得に必要な基礎学力(数学・英語)をはじめ、航空機の構造や仕組みを学びます。

航空課程

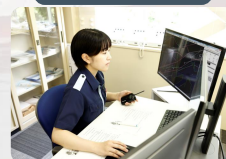


空から海を守る海上保安官
(パイロット)を育てる課程

パイロットとして必要な基礎学力
(数学・英語)をはじめ、海上保安官
として必要な知識や技能を学びます。

教育期間：1年 全国転勤

管制課程



船の安全運航に必要な情報を
提供し、交通整理を行う
『海の管制官』を育てる課程
英語、無線通信、船の構造などに
関する基礎を学びます。

教育期間：2年 全国転勤

海洋科学課程



海洋データの収集・解析で航海の安全
を支える海上保安官を育てる課程
水路測量や気象・海象の観測、
海図の読み取り方や更新方法などに
関する基礎を学びます。

教育期間：1年 全国転勤



有資格者が即戦力として活躍 海上保安学校 門司分校



福岡県北九州市



<海上保安学校門司分校HP>

Topic

北九州市は、九州の最北端に位置し、都会の便利さと豊かな自然、歴史が調和した魅力的な街です。

船舶、航空機及び無線通信の有資格者を対象に、海上保安官として必要な基礎知識、技能及び体力を錬成するため、約6か月間の初任者研修を行っています。
修了後は巡視船艇や航空機の乗組員、海上交通センターの運用管制官などに配属されます。



船舶職員



航海

配属管区内の巡視船等に乗組み、海上保安官としての業務に従事するほか、船舶の運航業務に従事します。

電子海図情報表示についての
能力限定が解除された
五級海技士(航海)以上の海技免状

機関

配属管区内の巡視船等に乗組み、海上保安官としての業務に従事するほか、船舶の機関の運転整備業務に従事します。

五級海技士(機関)以上(内燃機関の
限定を含む。)の海技免状

Point

採用日までに資格取得見込みの者も受験可能な試験区分もありますので、詳しくは海上保安庁ホームページをご確認ください。

各種採用試験情報はこちら



無線従事者



通信・技術

配属管区内の巡視船、航空機に乗組み、海上保安官としての業務に従事するほか、情報システムや船舶等の通信機器の運用管理業務又は海上交通センター等での海上交通業務に従事します。

- ・第一級又は第二級総合無線通信士の免許を有する者
- ・第一級、第二級又は第三級海上無線通信士の免許を有する者
- ・第一級又は第二級陸上無線技術士の免許を有する者

管制

配属管区内(隣接管区を含む)の海上交通センター運用管制課等で勤務し、海上保安官としての業務に従事するほか、船舶の安全運航に必要な情報の提供や航行管制等により船舶事故の未然防止にかかる業務に従事します。

- ・第一級総合無線通信士の免許を有する者
- ・第一級、第二級又は第三級海上無線通信士の免許を有する者

無線従事者



飛行

全国の航空基地又は航空機搭載型巡視船の航空機に乗組み、海上保安官としての業務に従事するほか、航空機の運航業務に従事します。

- ・国土交通大臣が交付した回転翼航空機の事業用操縦士の資格以上の技能証明(特定操縦技能審査確認が有効期限内であること)を有し、かつ、有効な第一種航空身体検査証明書を有する者
- ・航空無線通信士又は、第一級、第二級総合無線通信士の資格を有する者

整備

全国の航空基地又は航空機搭載型巡視船の航空機に乗組み、海上保安官としての業務に従事するほか、航空機の整備業務に従事します。

- ・国土交通大臣が交付した飛行機又は回転翼航空機の航空整備士又は航空運航整備士の技能証明書を有する者

航空通信

全国の航空基地又は航空機搭載型巡視船の航空機に乗組み、海上保安官としての業務に従事するほか、航空機の通信業務に従事します。

- ・航空無線通信士又は第一級、第二級総合無線通信士の免許を有する者

